



オリーブ便り Olive News

2019.09.01

No. 423



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

基本
理念

患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

病院長退任のご挨拶

香川大学医学部附属病院 病院長 横見瀬 裕保

病院再開発の真最中、平成26年4月に病院長に就任し、足かけ6年の任期を無事終えます。皆様のご協力のもと、病院開設以来、最も厳しく、苦しい時期を乗り越えることが出来ました。本当に有り難うございました。心から感謝いたします。

病院長就任の時、解決すべき重大な問題が山積みでした。居ながら改修のため5年間にわたって最大マイナス80床で前年度より5億円増収という計画の実行を任されました。病院経営のことを考えていると眠られず、やっと眠っても夜中に何度もうなされて目覚めました。自分の叫び声で目を覚ますこともありました。私の医療に対するモットーはアート(卓越した技術)、ハート(心温まる医療)、サイエンス(科学的根拠に裏打ちされた医療)です。これらを実行すれば経営を含む問題点は自ずと解決すると思えました。やるべき事は冷静な現状把握、実現可能な目標設定、達成のためのシステムの構築でした。

当時の本院の評判は芳しいものではありませんでした。多くの関連医療機関の先生から苦言を頂きました。困った時に助けてくれない。救急を断る。患者を紹介してもなかなか外来受診できない。なかなか入院できない。手術待ちが長い。

本院の目玉の一つであった救命救急医療は各科からの不安定な協力によって行われていました。最初に行ったことは救急車を断らないことの徹底でした。これを確実に行うために、救命救急バックベッド確保のシステム構築、確実に継続的な救命救急センターへの人的支援(インセンティブ病院助教制度の導入)を行いました。それまでは救急に貢献しても、何も報われませんでした。

新患者増加のために、受付時間の延長、予約枠の拡大(午後枠の推進)、全外来担当医に対する地域連携予約枠確保・拡大を行いました。全身麻酔手術枠の大幅拡大により手術数が増加し、結果的に早期入院が可能になりました。関連医療機関へのアンケートの結果、23%の施設から外来予約がスムーズになった、14%の施設から入院がスムーズになったと回答を頂きました。ベッドコントロール専従看護師の導入により空床利用の促進を行いました。それまで行われていたキープ(空いているのに使わない)などの悪い風習を撤廃しました。看護部の皆様の献身的な貢献なしでは実現は出来ませんでした。高松市街地の住民に対するアピールのため医療セミナー(イキイキさぬき健康塾)を開始しました。ケーブルテレビでの放映もっており、7月で49回を数えています。このセミナーは市民の皆さんに根付いたと考えています。

これらの取り組みを行った結果、外来患者数、入院患者数、稼働率、手術数、収益は劇的に改善しました。

再開発で香川大学医学部附属病院の機能は飛躍的に強化されました。これからもPET-CTの増設、放射線治療装置の刷新、ロボット手術の推進と成長し続けます。

香川大学医学部附属病院の使命は

- 最新・最良の医療を安心安全に地域住民に提供する事
- 新しい治療・診断法を開発し先進医療を展開する事
- 若い新しい医療人を継続的に地域に供給する事
- 安定した運営を展開して最新医療機器を定期的、継続的に更新する事
- 医師・看護師・医療技術者・事務職員が最良の環境で仕事を行い充実感・満足感を持てるようにする事です。

県民に愛され、選択される香川県の“The Hospital”を目指して、頑張ります! 長い間、ありがとうございました。すべては患者さんのために。

診療科長の横顔

座右の銘、ポリシー

考えてばかりいないで、とにかくやるべきことをやれ。

いつも目の前に沢山のすべきことがあります。一方で自分のやりたいことがあります。どうやったらやりたいことができるかを考えるのではなくやるべきことをやるのが大事だといつも考えています。仕事の95%はしんどいことです。しかしながら5%のうれしいことがあるので頑張れるといつも思っています。『素晴らしい計画は不要。計画は5%、実行が95%』です。

診療科紹介

関節リウマチを初めとした膠原病および類縁疾患を担当しています。難病とされる膠原病です。患者さんの生命はもちろんですが、人生の質が少しでも向上し、患者さんの人生のパートナーになれるように心がけて診療しています。お母さんになりたい患者さんも全力で応援しています。



香川大学医学部
血液・免疫・呼吸器内科学
准教授(病院教授)
土橋 浩章

師長の横顔

座右の銘、ポリシー

「一期一会」です。

私は人との縁を大事にしたいと考えています。出逢うこの時間を大切にして、相手を思いやり、出逢えたことに感謝していきたいと思えます。

病棟紹介

血液内科、膠原病・リウマチ内科、内分泌代謝内科の病棟です。骨髄移植や化学療法、緩和ケアを行うほか、自己免疫疾患に対する生物的製剤導入、糖尿病の教育入院などを目的とする患者様が入院しています。慢性期の患者様は長期間の医療が必要であり、生涯病気と共に生きていきます。そのような患者様と一緒に寄り添える医療者として、入院期間だけではなく退院後も見据えた看護を提供できるようスタッフ一丸となり努力していきたいと思えます。



香川大学医学部附属病院
南病棟7階
師長 富田 照美



膠原病・リウマチ内科 集合写真



南病棟7階 スタッフ集合写真

香川県肝疾患診療連携拠点病院 事務担当者
日本肝臓学会 肝がん撲滅運動 香川県責任者
香川大学医学部 消化器・神経内科学 教授 正木 勉

肝がん撲滅運動の市民公開講座が2019年7月21日にサンサン館みきにて開催されました。雨のなか73名の多くの皆様にご参加いただきました。イベント参加者にはリピーターが多いため、「ウイルス性肝炎の最新治療」「生活習慣病と肝疾患」「女性に多い肝疾患」「肝がんの内科的治療」「肝がんの外科的治療」と盛りだくさんの内容で参加者の興味を惹きました。

昨今では、肝炎ウイルスを駆除あるいは制御できることが容易になり、肝炎ウイルスによる肝がんが減少し、生活習慣病をバックグラウンドにした肝がんが増加し、進行肝がんが増加してきています。肝がん治療には、多くのオプションがあり、昨今の肝がん治療の進歩に驚嘆したのではないかと思います。

今後も地域住民が広く参加できる市民公開講座を開催し、肝がん撲滅に向けて当教室は鋭意努力していく所存です。



参議院議員通常選挙の不在者投票を行いました

香川大学医学部 総務課

7月21日(日)に投票が行われました第25回参議院議員通常選挙の不在者投票が、本学医学部附属病院では7月18日(木)9:00から11:00にかけて病院2階カンファレンスルームに臨時の投票所を設けて実施され、入院患者さんたちが1票を投じました。

不在者投票は、入院患者や福祉施設に入所している人など投票日に投票所へ行けない方たちを対象に行うもので、入院中の78人の患者さんが不在者投票を希望されました。

また、臨時の投票所まで来られない患者さんも32人いらっしゃったので、2人1組の3チームに分かれて病室に担当者が出向き、不在者投票を行いました。

イキイキさぬき健康塾
香川大学医学部附属病院 医療セミナー



詳しくはこちら

「前立腺がんを正しく理解して、正しく治療しましょう!!」

香川大学医学部 泌尿器科学 教授 杉元 幹史

前立腺がんの治療には大きく分けて、手術、放射線治療、ホルモン治療の3つがあります。このうち手術と放射線治療はがんを治す治療、すなわち根治療法です。簡単にそれぞれの治療法の特徴をご説明いたします。

手術は全摘除術、すなわち前立腺を全部摘出する方法です。香川大学ではロボット手術で行っています。ロボット手術のメリットはとにかく緻密な操作ができることです。それによって高い制癌効果とともに機能温存、つまり性機能の温存や術後の尿漏れを極力抑えることができます。

放射線治療には体外から照射する外照射と前立腺内部に放射性物質を埋め込む内照射の2種類があります。香川大学では精密な照射が可能な外照射、強度変調放射線治療(IMRT)を行っています。内照射(小線源療法)は香川大学が県下で唯一の実施可能施設です。これは入院期間も短く副作用も少ない優れた方法ですが、すべての前立腺がんが対象となるわけではありません。

ホルモン治療とは、基本的には男性ホルモンを抑える方法です。手術で睾丸を摘出する方法と、1ヶ月から6ヶ月ごとの注射による方法があります。ただしホルモン治療では前立腺がんは治りません。また長期に行くと様々な副作用が出てきます。安易に行うべきものではないということを知っておいてください。

前立腺がんの多くは進行がゆっくりであるため、すべての患者さんに根治治療が必要な訳ではありません。そのためある種の前立腺がんに対しては、あえて治療を先延ばしにする監視療法という方法も選択できます。

それぞれの患者さんの状況に合わせて、どの治療法が最適な「標準治療」なのかを選択し提示できる力こそが医師に求められている能力です。

われわれは前立腺がん診療のプロ集団です。気軽にご相談いただければ幸いです。

第43回イキイキさぬき健康塾(平成31年1月13日開催)の講演内容を要約したものです。

臨床研究に関するご案内

香川大学医学部 倫理委員会委員長
香川大学医学部附属病院 治験審査委員会委員長
香川大学医学部附属病院 臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー 2019.9~10月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
9/5 木	14:00~15:10	西病棟1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と医師が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066
9/8 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾 (消化管の壁内から発生する粘膜下腫瘍 ~ピロリ菌陰性時代のクローズアップ疾患~)	総務課	(087)891-2008
9/19 木	14:00~15:10	西病棟1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と看護師が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066
9/20 金	14:00~16:00	西病棟1階カンファレンスルーム	がん患者サロン 「楽しく学ぼう。認知症のこと」	がん相談 支援センター	(087)891-2473
10/3 木	14:00~15:10	西病棟1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と医師が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066
10/13 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾 (C型肝炎の撲滅-その最新治療)	総務課	(087)891-2008
10/17 木	14:00~15:10	西病棟1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と薬剤師が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066

編集委員会 (50音順)

(2019年7月現在)

阿部(看護)、荒井(検査)、大高(医療支援)、奥山(病棟)、榎原(管理)、日下(副病院長)、笹川(放射線)、
富田(経営企画)、濱本(外来)、芳地(薬剤)、前川(医事)、横井(医療情報)、横川(総務) [委員長 横見瀬病院長]